



NPO法人 環境ベテランズファーム (EVF) **拡大** セミナー

「第三の危機」vs鳥類学者,あるいは(外来生物の功罪)

講師：森林総合研究所主任研究員 川上和人

日本政府が策定している生物多様性国家戦略では、生物多様性を脅かす「第三の危機」として外来生物を位置づけている。特に、世界自然遺産地域である小笠原諸島には、ヤギやネコ、ネズミなど多くの外来生物が侵入し問題となっており、対策事業の先進地となっている。しかし、事業を進めることで、外来種を駆除すれば解決という単純なものではないことがわかってきた。今回の講演では、小笠原の鳥類をモデルとして、外来生物対策の最前線を紹介する。

NHKスペシャル

東京ロストワールド 第1集 南硫黄島

9月16日(日)NHKスペシャルにて絶海の孤島南硫黄島の本格的な探検の様子が放送されました。この科学調査隊には講師の川上和人氏も参加されています。



日時：平成30年11月20日(火) 18:30~20:30

場所：きゅりあん6F大会議室(JR大井町駅 徒歩1分)

<http://www.shinagawa-culture.or.jp/hp/page000000300/hpg000000268.htm>

18:00~18:30 受け付け

18:30~20:30 講演 川上和人氏

(森林総合研究所主任研究員 小笠原諸島を中心に、鳥類の生態、保全管理に関する研究に従事している。著書：「そもそも島に進化あり」(技術評論社)、「鳥類学者だからって、鳥が好きだと思うなよ。」(新潮社)、「トリノトリビア」(西東社)など)

参加費：EVF個人賛助会員・ネット会員1,000円、一般1,500円(当日会場でお支払いください)

定員：100名(定員になり次第、締め切らせていただきます)

お申し込みは下記のURLから必要事項を記入して送信をお願いします。

セミナーの申し込み：http://www.evfpj.org/postmail_semina/

